

モニタリングレポート(平成27年度)

施設名	鈴鹿市立体育館・鈴鹿市立テニスコート				
施設所在地	鈴鹿市江島台一丁目1番1号				
指定管理者名	特定非営利活動法人 鈴鹿市体育協会				
評価担当課	スポーツ課	問合せ先	059-382-9029		
施設の運営状況	(確認方法) 日報, 月次報告書, 年度事業報告書				
開館日数	333日	総利用者数	184,293人	1日当たりの利用者数	553人
開館時間	<small>・市立体育館は、午前9時から午後9時まで ・市立テニスコートは、午前9時から午後9時まで(ただし、5月1日から10月31日までの土・日・祝祭日及び小中学校の夏休み期間中の使用時間は、午前6時から午後9時まで)</small>				
事業収支	(確認方法) 年度事業報告書				
項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)		
利用料金	24,000,000	27,455,090	3,455,090		
事業収入	4,100,000	3,525,818	▲ 574,182		
指定管理料	32,285,000	32,285,000	0		
自主事業収入	2,320,000	1,998,850	▲ 321,150		
雑収入	22,000	33,530	11,530		
収入計	62,727,000	65,298,288	2,571,288		
人件費	14,933,000	14,976,636	43,636		
旅費交通費	120,000	119,230	▲ 770		
通信運搬費	165,000	141,879	▲ 23,121		
受信料	60,000	44,964	▲ 15,036		
消耗品費	930,000	958,428	28,428		
修繕費	1,000,000	2,389,729	1,389,729		
印刷製本費	220,000	289,693	69,693		
燃料費	10,000	6,504	▲ 3,496		
光熱水費	12,000,000	12,924,803	924,803		
賃借料	2,437,000	2,403,580	▲ 33,420		
手数料	0	23,460	23,460		
保険料	2,720,000	1,826,155	▲ 893,845		
委託費	9,385,000	9,355,600	▲ 29,400		
租税公課	0	2,478,000	2,478,000		
研修費	0	119,040	119,040		
諸謝金	3,620,000	3,376,960	▲ 243,040		
本部管理費	14,815,000	7,234,590	▲ 7,580,410		
支出計	62,415,000	58,669,251	▲ 3,745,749		
収支	312,000	6,629,037	6,317,037		

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価)	月次報告書	○	すべて適切に履行されている。
	現地調査	○	すべて適切に履行されている。
	定例報告会	○	すべて適切に履行されている。
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価)	アンケート	優良	H27年10月から11月にかけて実施。各施設とも満足度は高くなっている。
	現地調査	優良	衛生面や景観面等を常に配慮し、維持管理されている。
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価)	貸借対照表	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	損益計算書	○	利益を求める団体ではないことを考慮すると問題なし。
	年度事業報告書 (事業収支表)	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	その他財務諸表等	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
年度業務報告書の内容評価			○適・不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力、施設管理運営能力、いずれの点においても優秀な内容である。			
定例報告会の頻度と内容の評価			○適・不適
月次報告書の提出及び2ヶ月に一度報告会を開催し、報告書に関する質疑応答や課題の共有等を行った。定例報告会において、自主的な改善案の提案や現状抱えている課題について情報共有を行うなど積極的な姿勢が窺える。			
緊急時の対応評価			○適・不適
大規模災害等の緊急事態は発生しなかったが、マニュアルを整備し、定期的な訓練を実施しており、緊急時への対応準備は整っている。また、台風の接近時は、迅速に施設利用者の安全確保を優先するなど、円滑に対応できている。			
指定管理者の総括評価			○適・不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力に問題はなく、自主的に各施設の課題把握に励み、課題改善のための様々な方策を提案・実行する意識の高さで、利用者の安全面への配慮や利便性向上に日々努めている。			
施設の課題と対策			
施設の設置から40年以上が経ち、施設の至る所で不具合が生じ、修繕が必要となっている。現在のところ、指定管理者の適切な管理運営のため、利用者への直接的な影響は最小限に止められているが、計画的な修繕を行っていく必要がある。			
施設の方向性			
施設へのニーズは非常に高く、本市のスポーツ振興を図る上で必要不可欠な施設であり、今後も施設を維持していく方針である。しかし、体育館の老朽化及び平成33年に開催予定の第76回国民体育大会ハンドボール競技の会場となっているため、平成30年度以降の大規模改修に向けた準備を整えていく必要がある。			